

【浙江省農業庁地下排水試験田協力事業】

被供与団体：浙江省農業庁

供与金額：18,483 米ドル

契約署名日：平成 4(1992) 年 12 月 18 日)

案件概要：

本件では、静岡県重機建設業協同組合と浙江省農業庁が共同で同省湖州市に設ける地下排水試験田(21.4ha)2カ所の造成に必要な機材(日本側提供の工作機械及び資材)の日本ー上海間の海上輸送費及び中国国内(上海ー杭州)の輸送費を援助した。これに伴い、日本から技術者が来訪し、現地で技術指導を行った。

現在、試験田は 29ha に拡大され、大部分が浙江大学の実験田として利用されている。

<関連写真>



【浙江省温州市五鳳ショウ郷中学校寄宿舎建設計画】

被供与団体：浙江省温州市山区教育振興基金会

供与額：63,939 ドル

契約署名日：平成 6(1994) 年 12 月 15 日

案件概要：

五鳳ショウ郷中学校は、温州から西に 60 kmの山間部に位置する。約 280 名が在籍する同郷唯一の中学であるが、そのうち 100 名近くは片道 1.5～2 時間をかけて徒歩で山道を通学することを余儀なくされているため、寄宿舎の建設が計画された。

本件は、その建設費約 55 万元を供与するもので、地元政府をはじめ、当地域で教育条件の改善に尽力している日本宋慶齡基金会の協力も得た。各室 6～8 名を収容する寝室をはじめ、図書室、医務室等を備える 3 階建ての寄宿舎に、現在約 70 名が寄宿している。

<関連写真>



【浙江省象山县身体障害者リハビリセンター建設計画】

被供与団体：浙江省象山县身体障害者連合会

供与額：77,955 米ドル

契約署名日：平成 8(1996)年 3 月 7 日

案件概要：

同県は、人口 52 万人余りの半島の先端に位置する山地が多い地方都市である。全県の身体障害者は 25,560 人であるが、うち比較的軽度な障害者約 1,200 人と、労働能力はあるが就業のための訓練を受ける機会のない失業身障者が約 4,700 人を占めている。これらの社会的弱者に就業の機会を与えて貧困から救うため、本センターの建設が計画され、本件では、総建設費の約 6 割に当たる 64 万元を供与した。

完成以来、4 年間で職業技術訓練を受けた障害者は 16 期、延べ 600 人以上になり、障害児童及び保護者延べ 80 人に対してリハビリ、コンサルティングを行ってきており、経済的 自立を大きく促

進したほか、身体障害者運動会でメダルを獲得する等の成果もあげている。

＜関連写真＞



【浙江省縉雲県婦幼保健院建設計画】

被供与団体：浙江省縉雲県婦幼保健院

供与額：91,405 米ドル

契約署名日：平成 8(1996)年 10 月 24 日

案件概要：

縉雲県は、人口 42.7 万人の浙江省中部の山地に位置する地方都市である。縉雲県婦幼保健院は 1950 年に設立された保健所であるが、職員 11 人と看護婦 5 人を擁するのみで医療機関としての十分な機

能がないため、婦人の出産時死亡率も高い状態が続いていた。そこで、産婦人科、小児科の機能を併せ持つ新たな保健院の建設が計画され、本件はその総経費 167 万元のうち、建設費用及び医療機器の購入費の一部、約 75 万元を援助した。

<関連写真>



【浙江省金華県湯溪鎮養老院建設計画】

被供与団体：浙江省金華県湯溪鎮養老院

供与額：82,101 米ドル

契約署名日：平成 9(1997)年 3 月 17 日

案件概要：

杭州市から 200 kmに位置する金華県湯溪鎮には、1987 年に建設された養老院があるが、粗末な造りのために既に老朽化している上特段の設備もなく、収容能力も 20 人程度に過ぎなかった。そこで、鎮政府が 200 人収容可能な養老院建設計画を立てたところ、140 万元のうち不足する約 60 万元を支援した。現在では 186 人が入居し、老人の福利厚生の向上に役立っている。

<関連写真>



【浙江省紹興市新昌縣體育場建設計畫】

被供与団体：浙江省新昌縣體育運動委員會

供与額：85,274 米ドル

契約署名日：平成 10(1998)年 3 月 11 日

案件概要：

新昌縣は、紹興市に属する人口 43 万人の地方都市であるが、県内に施設がないために県民運動会を実施することができない唯一の県であった。県民のスポーツ熱に応えるために体育場建設計画が持ち上がり、総費用 160 万元のうち地元で手当することができない約半額につき草の根無償が申請された。

同県では、体育場の利用率を向上させるために、まず再建計画のあった重点中学校を体育場建設予定地の隣に移設し、今後長期間に亘って使用可能な施設として周辺を整備する計画を立て計 2,000 万

元を手当した。その結果、2000 年秋に約 5,000 人を収容できる観客席を備えた「総合陸上競技場」が完成し、2001 年以降、全国レベルの大会を誘致していきたいとしている。

<関連写真>



【浙江省永嘉県五尺郷前山道路整備計画】

被供与団体：浙江省永嘉県五尺郷政府

供与額：84,396 米ドル

契約署名日：平成 10(1998)年 7 月 9 日

案件概要：

温州市から約 65 kmの永嘉県五尺郷は、人口 1.1 万人で、約 3 分の 1 の村に道路が通じていないため、主要な運輸手段は人力であった。特に前山地区の 6 つの村は貧困村で、生活物資や農作物は住民が担いで山道を運搬せざるを得ず、生活条件は極めて劣悪であった。そこで、地元政府はこれらの地区(人口約 2,000 人)を結ぶ幅 6.5m、全長 6.1 kmの道路を整備することになり、総工費 117 万元のうち 69 万元を草の根無償資金として供与した。

<関連写真>



【浙江省瑞安市湖嶺鎮中学校寄宿舎建設計画】

被供与団体：浙江省温州市山区教育振興基金会

供与額：63,654 米ドル

契約署名日：平成 10(1998)年 3 月 11 日

案件概要：

瑞安市は、温州市の南に位置しており、山地が海岸にまで迫っているため、経済開発が遅れている。湖嶺鎮中学校は、鎮唯一の中学校として 1990 年に新設されたが、1995 年になってようやく新しい校舎が完成したばかりで、寄宿舎を建設する余裕はなかった。しかし、全校生徒 1,500 人のうち周辺山間部出身の生徒が大部分を占め、約 700 人が学校周辺の民家に仮住まいを余儀なくされ、その費用も各生徒にとって負担となっていた。そこで収容人数 250 名の寄宿舎を建設することになり、その総額約 110 万元のうち寄宿舎建設にかかる約 53 万元を草の根無償で支援することになった。

完成した寄宿舎は「友誼楼」と名付けられ、250 人が同時に食事できる食堂も備わっており、学生

の生活環境が大幅に改善された。

＜関連写真＞



【浙江省開化県総合福利院建設計画】

被供与団体：浙江省開化県民政局

供与額：79,283 米ドル

契約署名日：平成 10(1998)年 3 月 11 日

案件概要：

開化県は、浙江省西部の山間部に位置する。同県には、約 280 名の身よりのない老人が養老院に収容されているが、施設が不足していたことから、孤児も併せて収容することができる総合福利院の建設を決定した。

本計画は、周辺整備を含め、総額 600 万元が必要で、県政府や省が経費の大部分を拠出したが、老人宿舎の建設費用にかかる直接費約 65 万元を草の根無償で供与した。

＜関連写真＞



【浙江省桐廬県婦幼保健院移設・拡充計画】

被供与団体：浙江省桐廬県衛生局

供与額：82,316 米ドル

契約署名日：平成 10(1998)年 11 月 24 日

案件概要：

桐廬県は、浙江省の省都杭州市から南西に 90 km、人口約 40 万人の地方都市である。桐廬県婦幼保健院は、1953 年に県中心部に設立されたが、設備が不十分で需要に応じきれなくなったため、県郊外の経済開発区に規模を拡大して移設されることになり、地元政府等が資金を拠出し、一期工事である診療棟を建設した。しかし入院棟及びその付属施設の建設費用 110 万元のうち、自己資金では 40 万元程しか見込めなかったことから、不足分約 68 万元を草の根より支援した。

開院後半年で約 500 名の新生児が誕生したほか、女性、乳幼児、児童の健康管理も担っており、従来は別の病院で行っていた婦人科の手術も可能となった。職員も以前から倍増して 80 名となり、農村の巡回検診などを通じて農村地域の婦人の健康管理や衛生意識の向上を促進している。

<関連写真>



【浙江省德清县妇幼保健院建設計画】

被供与団体：浙江省德清县妇幼保健院

供与額：83,504 米ドル

契約署名日：平成 10(1998)年 11 月 24 日

案件概要：

徳清県は、人口 42 万人で、82 年に設立された県婦幼保健所が 28 万人に上る婦女と児童の健康問題を主管し、各種活動を展開してきたが、設備が老朽化して、建物も手狭になったことから、新たに保健院が建設されることになった。

本件はその建設費用総額 150 万元のうち、関係部署が拠出できない約 70 万元を草の根無償資金より供与したもの。

完成後半年間の診療人数は婦女延べ 6,600 人、子供延べ 8,900 人となり、診察数全体では前年に比べ 20%

増となった。また全県の保健婦 150 名に対して訓練を行うなど、波及効果が出ている。

＜関連写真＞



【浙江省衢州市災害救援センター建設計画】

被供与団体：浙江省衢州市民政局

供与額：73,216 米ドル

契約署名日：平成 11(1999)年 8 月 31 日

案件概要：

浙江省の中西部に位置する衢州市は、人口約 240 万人で、山地、丘陵地帯が面積全体の 85%を占め、市内には 3 本の川が流れており、年間降水量の 7～8 割が 6～7 月に集中する等の理由から、かねてから災害多発地域であった。同市では、ダム建設や河川整備等、総合的な防災対策を講じてきており、新たに被災地域への物資運搬（被災時）、募金や救援物資の受付及び管理、救済活動に従事する人員を対象とした技能訓練（平時）を実施する「災害救済センター」の建設を決めた。本件は、このセンターの建設費用 300 万円のうち約 60 万円を支援したもの。

【浙江省嘉興市身障者活動センター建設計画】

被供与団体：浙江省嘉興市身障者連合会

供与額：73,168 米ドル

契約署名日：平成 11(1999)年 8 月 31 日

案件概要：

浙江省北部の嘉興市は、人口 330 万人の中核都市である。1989 年に設立された同市の身障者連合会は、14 万人の身体障害者の権益保護のために、各種のリハビリ訓練、白内障手術の推進等、様々な活動を展開している。

同連合会では、高まる需要に応えるために活動の中心となる「市身障者センター」の建設を決定し、本件はその建設費約 700 万円のうち約 70 万円を供与した。同センターは 5 階建て、延べ床面積 4,000 m²で、リハビリ、技能訓練、多目的ホール等を備えており、完成後、毎日約 300 人の身障者が使用している。全国身体障害者スポーツ大会で入賞者を出す等、障害者の社会的自立のために効果を発揮している。なお、本件は「1998 年、市民のための 10 大事業」の一つとして実施された。

<関連写真>



【浙江省浦江県礼張中心小学校建設計画】

被供与団体：浙江省浦江県礼張中心小学校

供与額：68,854 ドル

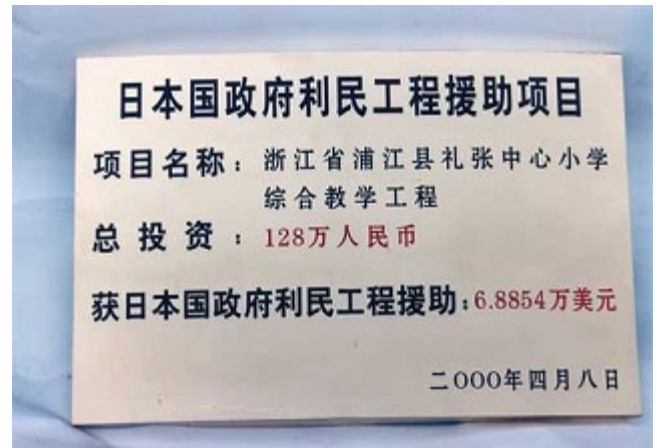
契約署名日：平成 12(2000)年 2 月 16 日

案件概要：

人口 38 万人の浦江県は、浙江省のほぼ中部に位置する金華市の最北端にある農村県であり、岩頭鎮（村）に住む 690 名の小学生は、8 カ所にある小学校に別れて授業を受けている。しかし、何れも規模が小さく設備も極めて古く教育水準の向上には大きな制約となっていたため、同県は、それらを統合し、現有の「礼張学校」を基礎として、寄宿制の新しい小学校を建てることを決定した。第一期工事として約 35 万元で食堂等を整備したが、第二期工事として校舎や運動場を整備するのに更に約 128 万元を要し、草の根無償資金よりその不足分約 57 万元を供与した。

学校が統合されたことにより、教師の効率的な配置が可能となり、資格合格率は 67%から 99%まで大幅に上昇する等、教育環境の改善と教育レベルの向上に繋がっている。

<関連写真>



【浙江省景寧シエー族自治県第一中学校校舍建設計画】

被供与団体：浙江省景寧シエー族自治県第一中学校

供与額：89,035 ドル

契約署名日：平成 12(2000)年 10 月 16 日

案件概要：

浙江省南西部に位置する景寧シエー族自治県は、当館管轄区域内唯一の少数民族地区であり、人口約 17.5 万人の約 1 割をシエー族が占めている。「浙江のチベット」と呼ばれる同地は、省内でも最も貧しい地区の一つとされ、県民一人当たりの年間平均年収は、省農村部住民平均のわずか 4 分の 1 程度である。景寧シエー族自治県第一中学校は、創設が 1938 年と早い事もあり、校舍の老朽化が激しく、また教室の数も足りない状況にあった。

本計画は、新校舍（4 階建て、12 教室）建設費 140 万元のうち、材料費の一部 73.58 万元を援助するというものである。

2006 年に、県、都市部の教育調整が行われ、当校は新校区に移転した。現在、当施設は職業高校として利用され、800 名の生徒が就学しており、8 クラス 350 名の学生に裨益している。

＜関連写真＞



【浙江省景寧シエー族自治県母子保健院建設計画】

被供与団体：浙江省景寧シエー族自治県母子保健所

供与額：63,884 ドル

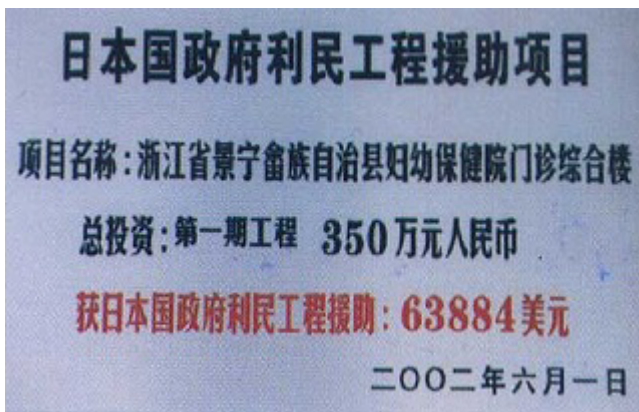
契約署名日：平成 12(2000)年 2 月 16 日

案件概要：

浙江省南西部に位置する景寧シエー族自治県は、同省唯一の少数民族地域で、人口約 17.5 万人のうち約 1 割をシエー族が占める。山間部に位置するため経済発展が遅れており、県民の平均収入は省の農村部平均の 4 分の 1 に止まる。

県の母子保健院は、1984 年に設立され職員数 20 名で、婦人及び乳児の健康維持を目的とする県内唯一の保健機関である。年間の利用者数は 2.5 万人であるが、施設が手狭でニーズに応えられないため、施設拡充計画が建てられた。本件は、総工費約 200 万元のうち約 53 万元を供与したもの。現在では母子保健分野のみならず、農民の健康管理一般を担う保健所の役割も果たしている。

<関連写真>



【浙江省臨安市青少年活動センター建設計画】

被供与団体：浙江省臨安市青少年活動中心

供与額：77,994 米ドル

契約署名日：平成 12(2000)年 10 月 16 日

案件概要：

臨安市は、浙江省の省都杭州市に属し、農業が中心産業である。市青少年活動センターは知的障害児及び経済的理由により就学機会を失った児童・生徒を含む青少年（主として小中学生）を対象とする社会施設として 1997 年に設立され、これまで既に延べ 9,000 人の青少年が補習や課外活動の場として利用している。益々高まる青少年と家族の需要と要望に応じる為、センターは改修工事を行い、総経費 107 万円のうち、約 64 万円を草の根無償で供与した。

現在、同センターは市の青少年基礎教育の重要拠点となりつつあり、また、同センターは、文盲一掃活動の拠点ともなっている。

<関連写真>



【浙江省蘭溪市孟湖鄉（李漁）初級中学建設計画】

被供与団体：浙江省蘭溪市孟湖鄉（李漁）初級中学

供与額：82,857 米ドル

契約署名日：平成 13(2001)年 10 月 29 日

案件概要：

蘭溪市孟湖郷（李漁）初級中学は、同郷唯一の中学で、1960 年代に創立された。校舎は創立当時に建設された木造で老朽化が進んだ狭隘なもので、危険家屋に指定されており、今後、学生数の増加が予測されていたため、郷政府は同校の中心地 33 ムーに新校舎を建設することを決定した。新校舎は 3 階建て、2,300 m²で、教室、教員事務所、実験室等を備えている。建設費用は 150 万元で、草の根無償資金より 76.7 万元を支援した。教学棟の入り口に、「日本政府と日本国民に深く感謝の意を表す」と書かれた記念碑が設けられている。

<関連写真>



【浙江省淳安县威坪镇中心小学校建設計画】

被供与団体：浙江省淳安县威坪镇中心小学校

供与額：94,430 米ドル

契約署名日：平成 13(2001)年 3 月 1 日

案件概要：

淳安县は、浙江省と安徽省との省境に位置する人口 40 万人の町である。1958 年にダムが建設されたとき農地が水没したことや、環境保護を重視して大規模な工場を誘致しなかったことから、経済発展は停滞している。

威坪鎮中心小学では教室が不足しており、民家や公民館を改造して授業を行うなど、設備、広さともに不十分な状況にあった。鎮内の別の小学校も同校と同様に、生徒の増加と教室不足を抱えているため、鎮内の大部分の小学校 5、6 年生を集めた寄宿生の学校を鎮中心小学の敷地内に新たに建設することが計画された。これにより、小学校の負担が軽減されると共に、生徒の学力の平均化も期待されている。一期工事となる校舎と宿舍の建設総費用は 140 万元であり、そのうち 78 元が草の根無償により供与された。

<関連写真>



【浙江省遂昌县王村口中心卫生院再建計画】

被供与団体：浙江省遂昌县王村口中心卫生院

供与額：92,067 米ドル

契約署名日：平成 13(2001)年 3 月 1 日

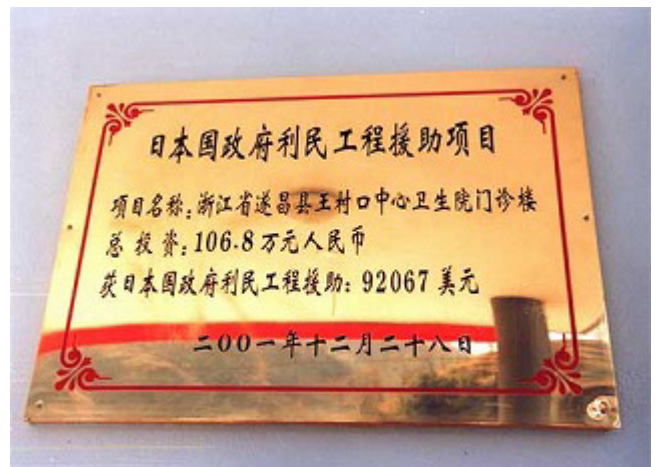
案件概要：

遂昌县王村口镇は浙江省南西部に位置し、人口は 1 万人余りである。同鎮は農業を中心としており、農民の平均年収は省平均を大きく下回っている。

王村口中心卫生院は 1951 年に開設された鎮及び周辺地域の中心的な医療機関である。当地では、山間部の農作業事故による外傷の処置や母子保健の強化が課題となっているが、病棟が老朽化し、医療設備も 1970-1980 年代に設置したものが中心なため、現場の需要に応じきれなくなっていた。そこで、3 階建て、建築面積 1,568 m²の新しい外来病棟を建設し、人員、設備を拡充する計画を建てた。本計画の総経費約 106.8 万元のうち約 76 万元を草の根無償資金より支援した。

完成後、裨益人数は 2.5 万人となり、外科、骨科、五官科、眼科など新しい医療検査室が設置され、医療水準は著しく向上した。

<関連写真>



【浙江省蘭溪市蘭江福利院施設拡充計画】

被供与団体：浙江省蘭溪市蘭江福利院

供与額：84,987 ドル

契約署名日：平成 13(2001)年 3 月 1 日

案件概要：

蘭江福利院は 1960 年の開設以来、同鎮に在住する老人と両親から遺棄された幼児を収容している。建物は築 80 年を越える木造の祠を改造したものであった。高齢化により毎年入居希望者が増加していたが、施設の整備及び拡大は困難であった。

本計画は、敷地面積約 620 m²、建築面積 1,872 m²、3 階建ての入居棟を新しく建設したもので、総工費約 120 万元のうち約 70 万元を草の根無償資金より支援した。本件実施により、100 人の老人を収容することが可能となった。



供与した入居棟



ODA プレート

【浙江省舟山市定海区白泉老人ホーム拡充計画】

被供与団体：浙江省舟山市定海区白泉鎮政府

供与額：92,819 ドル

契約署名日：平成 13(2001)年 10 月 29 日

案件概要：

白泉老人ホームは、1994 年に福利企業の工場を改装して開設されたもので、2 階建て、建築面積 700 m²の建物に 35 人が入居していたが、急速な高齢化と核家族化から入居希望者が急増したため、拡充計画が立てられた。

本件では、3 階建て（建築面積 2,000 m²）の 50 室 100 人収容可能な養老院（多目的ホール、活動室、会議室、医務室など）の新設にかかる総額 250 万元のうち、76.71 万元を草の根無償資金が支援し、市民の福祉向上に寄与したものである。

【浙江省常山県城関中学校校舎建設計画】

被供与団体：浙江省常山県城関中学校

供与額：78,351 米ドル

契約署名日：平成 15(2003)年 1 月 23 日

案件概要：

輝埠鎮中学校は 1968 年に開校した鎮内唯一の中学校であり、1.1 万㎡の敷地に 70 年代始めに建てられた平屋の校舎が並び、14 の教室と 2 つの実験室を備えていた。木造建築のため老朽化が著しく、特に 5 教室、食堂、寄宿舎は危険建物に指定されていた。同地域は、9 年の義務教育は既に普及しているが、教育の質の向上に対する要求が高まるという背景を受け、県内の学校統廃合政策が行われ、同校は城関中学校と統合して常山県城関中学校建設計画が打ち出された。

新校舎は、約 1 km 離れた場所に建設され、4 階建て 1,700 ㎡、教室 13 室、実験室 3 室、教員室等の事務所 8 室を備えている。総経費は約 166.5 万元で、県教育委員会、鎮政府及び学校からの拠出と各方面からの寄付で 101.7 万元が確保されたが、不足分約 64.7 万元については草の根無償で援助を行った。

本件の実施により、教師の質も向上し、進学率も約 50%から 95%に伸びている。同校の生徒数は約 600 人であるが、間接的には同鎮及び隣接する周辺の鎮の計 1.8 万人に裨益している。

<関連写真>



署名式の様子



新校舎

【浙江省龍泉市小梅鎮中心衛生院綜合棟建設計画】

被供与団体：中国扶貧基金会

供与額：78,692 米ドル

契約署名日：平成 17(2005)年 9 月 14 日

案件概要：

小梅鎮中心衛生院は市の重点鎮に 1970 年代に設立された衛生院で、当地及び周辺県鎮 2 万人に対し、医療サービスを提供している。しかし、土壁造りの簡易平屋（600 m²）で、病室が大幅に不足している上、診察に必要な医療設備も揃っておらず、医療環境は劣悪であった。

本計画は、総合棟（4 階建て 1,025 m²）を建設し、病室や処置室などの数を増やし、口腔衛生科を増設するというものである。その工事にかかる総費用 123.5 万元のうち主体工事 64.3 万元を草の根資金で供与した。本件の実施により、周辺住民 2 万人の医療環境の向上に寄与した。

<関連写真>



【浙江省衢州市衢江区上方中心卫生院医療設備供与計画】

被供与団体：浙江省衢江区人民政府

供与額：85,219 米ドル

契約署名日：平成 20(2008)年 2 月 18 日

案件概要：

上方中心衛生院は、衢江区の中でも特に貧しい山間部の鎮の一つである上方郷にあり、ベッド数は 15 床しかなく、設備も老朽化しており、当地の農村医療の要求を満たす事が出来ずにいた。そのため、

省政府の援助を得て入院病棟を建設したが、老朽化した医療器材を買い換えるための資金が不足していた。

本計画は、カラー超音波診断機及びX線照射装置(デジタル)を整備するというものである。本件の実施により、同院の医療条件を改善でき、上方鎮だけでなく、周辺住民約4万人に直接裨益している。

<関連写真>



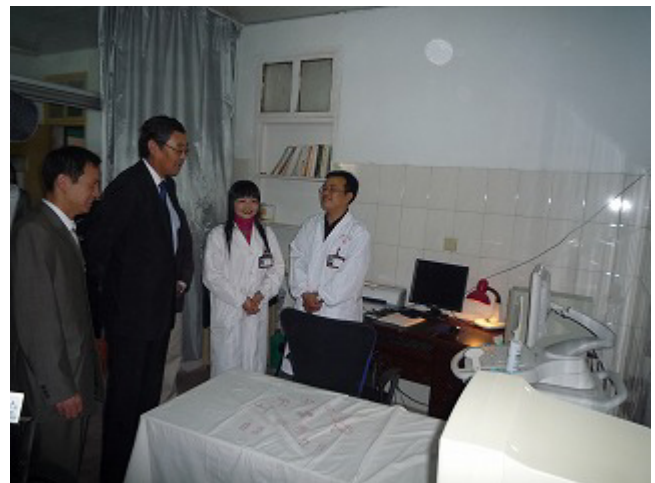
引渡し式



草の根無償資金協力記念プレート



供与したX線照射装置



診察室の様子

【浙江省龍泉市安仁鎮分散型污水处理場建設計画】

被供与団体：浙江省龍泉市人民政府

供与額：83,981 米ドル

契約署名日：平成22(2010)年3月9日

案件概要：

龍泉市安仁鎮には、農村に污水集中処理施設がないため、糞尿の処理率は12.9%しかなく、家庭から排出された生活污水は殆ど処理されずに河川に排出されている。生活排水の垂れ流しにより、プロジェクトサイトである安仁鎮の中心付近を流れる川の汚染が進み、飲用水の水質が悪化するほか、虫が繁殖しやすくなるなど、住民の生活環境に大きな影響を及ぼしている。

本計画は、生活排水を浄化処理する嫌気性の分散型污水处理場を設置することで、排水の水質を改善するものである。本件の実施により、近隣住民2,500人分の生活排水の浄化処理を行うことで、生活排水の水質を国が定める污水総合排出標準の2級標準まで達成させ、その結果、河川の水質改善が図られるほか、住民の生活環境の向上が見込まれる。

＜関連写真＞



サイト地（紅旗の辺り）



サイト地近辺

【浙江省江山市四都鎮生活污水处理場建設計画】

被供与団体：浙江省江山市人民政府

供与額：99,156 米ドル

契約署名日：平成23(2011)年3月23日

案件概要：

江山市は浙江省、福建省、江西省三省の隣接地に位置しており、銭江の源泉を有す。プロジェクトサイトの四都鎮は、江山市の東北部に位置し、現在、住民は約7,300人で人口密度が高く、経済発展に伴い人口増加が進んでおり、2015年には1.5万人に達する見込みである。しかし、同鎮には、生活污水を集中処理できる施設がなく、現在、生活用水は垂れ流し状態で、周辺環境の汚染は深刻な問題となっている。

そのため、江山市では、2008 年 5 月に市発展改革局の批准を受けて、四都鎮生活污水处理プロジェクトを計画し、まず 2009 年 9 月に今後の人口増にも応えられるよう市内全域における排水管の敷設工事を完了させた。その後、同プロジェクトの核心である污水处理場 1 か所（処理量 1,000m³/日）を建設することとして、草の根無償資金協力に申請越したものである。当該污水处理場は、嫌気性生態加湿処理プロセスを採用しており、1 日当たりの処理量は 1,000m³に達し、処理後の水質は国が定める污水総合排出基準の 1 級 B 標準（直接河川に排出できる水質基準）を満たすことができる。

<関連写真>



污水处理場の建設予定地